

『第2部：介護におけるCOVID-19パンデミック対応』より抜粋

## 介護サービスの実施においてCOVID-19の影響を軽減するための11の政策目標

-  1. 国のCOVID-19パンデミック対応の全てのフェーズに、介護サービスにおける対策を包めること。
-  2. COVID-19パンデミック対応とその被害からの復興にむけて、介護サービスへの対応のための適切な予算を分配すること。
-  3. 介護サービスに対するCOVID-19の影響を適切かつ確実に観察・評価し、最適な対応を行うために、保健制度と介護制度の間で効果的に情報共有すること。
-  4. COVID-19パンデミックに適切に対応し、質の高い介護サービスを提供し続けられるように保健医療関係者や医薬品等を含めた人材と資源を確保すること。
-  5. (COVID-19の影響下においても) 健康づくり、疾病予防、治療、リハビリテーション、緩和ケアを含む一連の必須サービスを要介護者に向けて確実かつ継続的に提供すること。
-  6. COVID-19の発症を予防し、また発症者を安全に管理するべく、全ての介護施設において標準となる予防策を確実に実施・定着させること。
-  7. 新型コロナウイルスの検査、接触者追跡調査、およびCOVID-19発症者のモニタリングを、介護サービスの受領者及び提供者に対して優先して行うこと。
-  8. 家族介護者やボランティアの介護者を支援すること。
-  9. 介護サービスの受領者および提供者が心理的・社会的に良い状態（ウェルビーイング）を保てることを優先事項とすること。
-  10. 復興期への円滑な移行を確実にすること。
-  11. 介護サービスを提供していくための持続的で効果的なガバナンス体制を確実なものとするべく、(現行の) 保健システムと介護システムを適切に統合していくための手順を開始すること。